

医療法人 正観会 御野場病院 広報誌



なおみ

第43号

令和7年11月発行

信頼され、選ばれる病院を目指して



INDEX

- 第50回 なんケアの会
- 栄養科だより
- 回復期リハビリテーション病棟(2A病棟)の取り組み
- 学会表彰について
- デイサービスセンターの取り組み
- 理念 ● 診療担当医表 ● アクセス



南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時:令和7年10月3日(金)18:00~19:00 会場:南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

参加者:35名(医療関係者9名、介護支援事業所関係者24名、調剤薬局1名、福祉用具専門相談員1名)

演題

慢性便秘症について

御野場病院 大野 秀雄 診療部長

慢性便秘症について、原因となりうる疾患や薬剤、便秘薬の種類、対応方法などについてお話いただきました。

慢性便秘症はさまざまな疾患、生命予後との関連も報告されているそうで、便秘治療に取り組むことは重要と教えていただきました。

よく飲まれている便秘薬の使い方の問題や新薬の薬価問題なども話題にあがり、有意義な研修となりました。ありがとうございました。

講演中



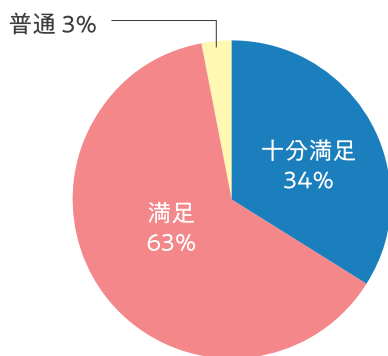
会場の様子



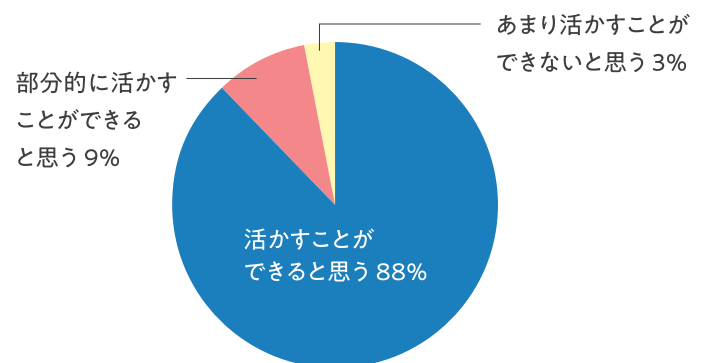
参加者の皆さんにアンケート

回収率:91.4%

Q1.なんケアの会に参加していかがでしたか？



Q2.今後、地域での活動に活かすことができそうですか？



皆さんからのご意見・ご感想

センノシドなど身近な薬でも、長期服用にはリスクがあると初めて知りました。身近な便秘という症状について、より詳しく理解できてよかったです。

地域包括支援センター

マッサージなどの情報ありがたいです。食事療法もわかっているのですが、なかなか難しいですね。便秘薬には、今後注意していきたいと思いました。

地域包括支援センター

メニュー

栄養科だより

● 9月のランチデー ●

揚げ茄子の
南蛮漬け



栗ご飯



炊き合わせ
(鶏つくね、椎茸、
ニンジン、インゲン)



ブドウ
(ナイアガラ)



9月は暦の上では秋なので、なんとなく“和”が浮かび、今月は和食をテーマにメニューを考案しました。

栗ご飯はごはんをしょうゆ・塩で味付けし、炊き合わせは食材をだし・しょうゆ・みりん で味付けしました。揚げ茄子は甘めの太根おろしに七味唐辛子を加え、食べやすくさっぱりとした味付けにしました。ブドウは、八百屋さんおすすめの「ナイアガラ」。この時期ならではの「シャインマスカット」もおすすめされましたが、さすがに手は出せませんでした。患者さんからは「栗ご飯がおいしい」「煮物の味付けがよい」と好評で、いつもより残食も少なめでした。

さてさて話は変わりますが、和食は2013年に「日本人の伝統的な食文化」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。この和食の特徴には、多様で新鮮な食材を使用していること、栄養のバランスがとれており健康的な食生活である

こと、自然の美しさを表現していること、年中行事と関わりがあることなどが挙げられます。日本は南北に長いので豊かな自然に恵まれ、四季折々の食材の料理を楽しむことができます。食材だけでなく、季節の行事の料理、使う食器、料理の見た目の美しさにも手が込んでおり、舌で味わうだけでなく目でも味わうことができます。私たちが普段何気なく口にしているものですが、奥が深いものがありますね。

今月のランチデーに当てはめてみると、旬の食材(栗、茄子、ブドウ)を使い彩りと栄養バランスを考え、椎茸は十字切りにして見た目にも力を入れてみると、和食の特徴をいくつか取り入れていることに気づきました。

日本の食事も欧米化・多様化しているといわれていますが、日本に生まれたことと豊かな自然の恵みに感謝し、和食を大切にしてください。食に携わっていききたいと思います。

回復期リハビリテーション病棟(2A病棟)の取り組み



回復期リハビリテーション病棟(2A病棟)では、病棟看護師・介護福祉士が入院患者さんを対象に、月に2回「御野場カフェ」や「レクリエーション」を開催しています。

「御野場カフェ」や「レクリエーション」の目的は、
●『患者さんに癒やしの機会を提供し、ストレス発散やリハビリ意欲の向上につなげてもらうこと』

●『患者さん同士やスタッフとの対人交流の機会を提供し、認知症状の緩和や退院後の社会参加にスムーズにつなげてもらうこと』

●『ベッドから離床する機会を提供することで、身体拘束の解除につなげたり、体を使うことで日常生活に必要な耐久性やバランスを向上させること』です。

そのためにどのような内容がよいかを病棟のレクリエーションチームで検討し、毎回楽しい企画を考えて活動しています。

8月のレクリエーションでは夏祭りを企画・開催しました。夏祭りといえばおいしい屋台の食べ物や縁日を想像します。そこで、病院内であっても患者さん全員が楽しめる食べ物やアクティビティコーナーを提供したいと考え、医師やリハビリスタッフ、栄養科、

歯科に相談のもと、今回はかき氷と綿あめを提供することにしました。

かき氷はシロップを3種類用意し、患者さんに好きなシロップを選んで注文してもらうようにしました。
えんげ
嚥下障害のある患者さんにはとろみがついたかき氷を用意し、患者さん同士みんなで楽しく味わうことができました。

アクティビティコーナーでは釣りゲームを開催し、たくさん釣れると周りから拍手が起こる場面が見られました。普段は表情の少ない患者さんが喜ぶ姿に、スタッフもうれしくなりました。カラオケ大会では得意な曲を披露していただき、スタッフも一緒に合唱しました。中には幼少期を回想し涙ぐむ患者さんもありました。多くの患者さんから好評の声をいただき「次はいつやるの?」と期待される患者さんの姿も見られました。

いつもとは違う雰囲気に、患者さんが本音をお話ししてくれたり「早く家に帰るために頑張る」と意欲的な言葉も聞かれ、スタッフも患者さんに元気をいただくことができました。

今後も患者さんの笑顔が増えるようなレクリエーションを企画し、開催していきたいです。



釣りゲームやカラオケ大会で盛り上がりました!



学会表彰について

当院リハビリテーション部の職員が、それぞれ学会において表彰されましたので、ご紹介いたします。

令和7年
6月21日

第29回 秋田県理学療法士学会 学会奨励賞 吉田 蛍

演題名「脊髄海綿状血管腫の発症による重度四肢麻痺患者に対し
環境設定や多職種連携によりトイレ排泄を獲得した症例」

令和7年
7月13日

第35回 東北作業療学会 学会長賞(最優秀演題賞) 工藤 七瀬

演題名「重度関節拘縮を呈したギラン・バレー症候群患者の食事
動作獲得に向けた介入」

受賞された2名の職員に敬意を表するとともに、引き続き、入院患者さんのための取り組みをお願いします。このたびは、おめでとうございます。



デイサービスセンターの 取り組み

今年もデイサービスセンターにおいて「敬老お祝い週間」として9月15日～9月20日まで、ご利用者と職員でお祝いをしました。

9月13日(土)はプレイベントとして「やまばと太鼓」さまに大迫力のオープニングを飾っていただきました。子どもたちを中心とした構成メンバーでしたが、子どもとは思えない力強い音、息のあったパフォーマンスに、ご利用者からは感嘆と歓声がやみません。美しい横笛の音色に涙する方も多く見られました。



9月15日(月)には、秋田市と能代市を中心に活動されている「オカリナのの花 すみれ」さまによる、オカリナとギターのコンサートを楽しみました。小鳥のさえずりのような優しいオカリナの音色にうっとり。

2団体の皆さん、本当にありがとうございました。



ビンゴ大会では、はつらつとした「ビンゴ!」の声が響き、思い思いの景品を手にした笑顔が会場いっぱいにあふれました。

ジャンケン大会では「トップ賞」だけでなく「ゲツパ(秋田弁でビリの意味)」の方にも豪華賞品を贈呈。たかがジャンケン、されどジャンケン! 会場は大盛り上がりでした。

昼食時には、健康と長寿を祈願して皆さんで乾杯をしました。

体だけでなく心の健康も大切に、利用者の皆さんが笑顔で過ごせるよう、これからもデイサービス職員一同、心をひとつにサポートしてまいりたいと思います。



「信頼され、選ばれる病院を目指して」

— 安全・信頼・連携・地域密着 —

私たちは、皆様が住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい生活ができるよう、地域包括ケアシステムの一環を担う病院として、安全で心の通った医療・介護・福祉サービスを提供し、患者様や地域の皆様から信頼され選ばれる病院を目指します。

診療担当医表

診療時間	診療科目	月	火	水	木	金
午前 9時～12時	内 科	吉川 晴夫 小田嶋 貢	吉川 晴夫 金谷 有子	大野 秀雄	石黒 英明 金谷 有子	石黒 英明
	神経内科	—	—	—	石黒 英明	石黒 英明
	歯 科	千葉 正明	千葉 正明	千葉 正明	千葉 正明	千葉 正明
午後 1時30分～3時	内 科	大野 秀雄	小林 佳美 皆河 崇志	大内慎一郎 二渡 克弥	皆河 崇志	小田嶋 貢 (第2・4) 小林 佳美
	リハビリ	—	小林 佳美	二渡 克弥	—	小林 佳美
	歯 科	千葉 正明	千葉 正明	—	千葉 正明	千葉 正明

※令和7年4月1日以降 ※午前の受付は11時30分までをお願いします。 ※水曜日の歯科の診療時間は午前9時から11時30分です。
※出張などにより、担当医が変更になる場合がございます。指定の医師をご希望の場合は、事前にお問い合わせください。

医療法人 正観会 御野場病院

〒010-1424 秋田市御野場二丁目14-1

TEL.018-839-6141 FAX.018-839-5025



- JR秋田駅より車で20分
- バス（秋田中央交通）
御野場団地線／御野場病院前下車

